

会議結果報告書

平成30年4月11日

会議の名称	志木市環境審議会（第1回）
開催日時	平成30年4月11日（木）15時00分～16時00分
開催場所	志木市役所3階 301・302会議室
出席委員	増田幸宏委員、毛利将範委員、大木勝臣委員、笠井泰孝委員、清水宏之介委員（代理 岩淵徹哉氏）、田中満男委員、星野博之委員 (計 7人)
欠席委員	大村相哲委員、金子亮委員、堂本泰章委員 (計 3人)
議題	委嘱状交付 市長あいさつ（部長代読） 議題 1 委員長・副委員長の選任 2 志木市環境審議会の役割について 3 第三期志木市環境基本計画の策定に係る今後の日程について
結果	委員長 増田幸宏氏、副委員長 毛利将範氏に決定。 第三期志木市環境基本計画の策定に係る審議いただく。審議不足については、郵送などの媒体も利用し、積極的に意見を徴収していく。 今後については、諮問と答申の2回を実施することとする。 素案の作成は、志木市環境市民会議の委員及び庁内検討委員会と連携を図りながら、審議会に諮る。 (傍聴者 1人)
事務局職員	醍醐市民生活部長（途中退席）、小日向環境推進課長、桜谷主幹、種元主事 (計 4人)

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1. 開 会 司会：小日向課長

2. 委嘱状交付

3. 市長あいさつ（メッセージ部長代読）

4. 議題

1 委員長及び副委員長の選任

委員長選出について、満場一致で増田幸宏委員を委員長に選出。

（新委員長あいさつ）

副委員長選出について、満場一致で毛利将範委員を副委員長に選出。

（副委員長あいさつ）

2 志木市環境審議会の役割について

事務局より概要説明

3 第三期志木市環境基本計画の策定に係る今後の日程について

事務局：概要及び目次（案）について説明

第一章 基本的事項に目的や位置づけを掲載予定。

第二章 現状と課題について掲載予定。

第三章 現行の計画である第五次志木市総合振興計画との整合性を図りつつ、計画目標を設定。

第四章 施策の展開について。資源循環型社会と快適な都市環境の創出への取り組みについてとする。

第五章 各主体の取り組みについてとする。

今後の日程について

一般市民、事業者、子ども向け市民アンケートの内容を5月～6月に実施。数回の市民会議を経て、10月には計画の素案を作成する。審議会委員へ素案を郵送し、意見を徴収。10月中旬に庁内検討会を設置し、素案を検討。審議会委員へ素案を郵送し、意見を伺う。11月末に第2回審議会開催、計画策定の諮問。11月に計画案策定とパブリックコメントを経て、2月に計画の確定、答申。

委員：審議会としての会議はあと何回か。

事務局：今回を含めて合計で3回とし、それに付随して郵送で意見を徴収していきたい。

委員：市民会議はどれくらいの頻度で開催されているのか。

委員：一か月に1回程度開催予定である。審議会で出された意見等を実際の

文章に反映されると認識している。

委員：一期から二期、二期から三期と10年間ごとにどう変わってきたのか説明をお願いしたい。

事務局：第一期 住環境全般について

第二期 廃棄物関係に傾いた形であった。

第三期 アンケート内容を精査比較し移り変わりを示していきたい。

委員：集まる回数は確かに限られている。その分集まった時には論点を明確にしていく事が重要である。概要説明と今年度スケジュールについて質問は、ありますか。

委員：都市構想で、市として何か取り組みがなされていくのか、それとも連携していくのか。

事務局：庁内検討会議にて連携を図り、情報共有をしていきたい。

委員：10年という長い期間について、それも大きな課題となるため、表面的で文章的になることが考えられる。街づくりや人口問題など横のつながりの意見交換も必要かと考えている。

事務局：環境市民会議・パブリックコメント・さまざまな意見も踏まえて作り上げていきたい。

委員：自然環境が限られている志木市だが、川をつないで、環境の有り難みを享受してきた。これに関連するものは、是非とも計画に盛り込んでいくべきであろうと考えている。自然環境についても都市部の自然をどうするかを打ち出していければ他市へのモデルともなりうる。

委員：そこが志木のウリの一つだと認識しているから、それを大きな特徴として、第三期には、成果と実績を具体的に挙げられるのが理想的である。

委員：10年を見据える計画をたった1年で作り上げる責任がある。それを達成していくために過去を勉強していく必要があり、第一期と比較して、たとえばエネルギー面については、震災前後で状況も随分と変わったり、温暖化についても、ある程度やむなしという流れになっていたり時代や風潮などしっかりと捉えていくべきである。

委員：都市計画に伴い、具体的にどう環境が変わったのか示す必要がある。女性の意見も必要。

委員：市民会議メンバーについて人数と男女比はどうなっているのか。

事務局：前年度メンバーを追加し、現在は18名で約半分の男女比である。

委員：計画策定後どのように推進していくのか。作って終わりではなく、作ってからがスタートであると認識して取り組んでいく必要がある。

委員　：以上なければ終了とする。

以上